

01

- 当該地域には、福祉、教育等様々な関係機関が集積しており、**連携を強化することで、播磨科学公園都市の活性化に寄与**
- 強度行動障害対応施設を新たに整備し、**全県初の強度行動障害に対する地域支援体制を構築（＝光都強度行動障害対応モデル地区）**

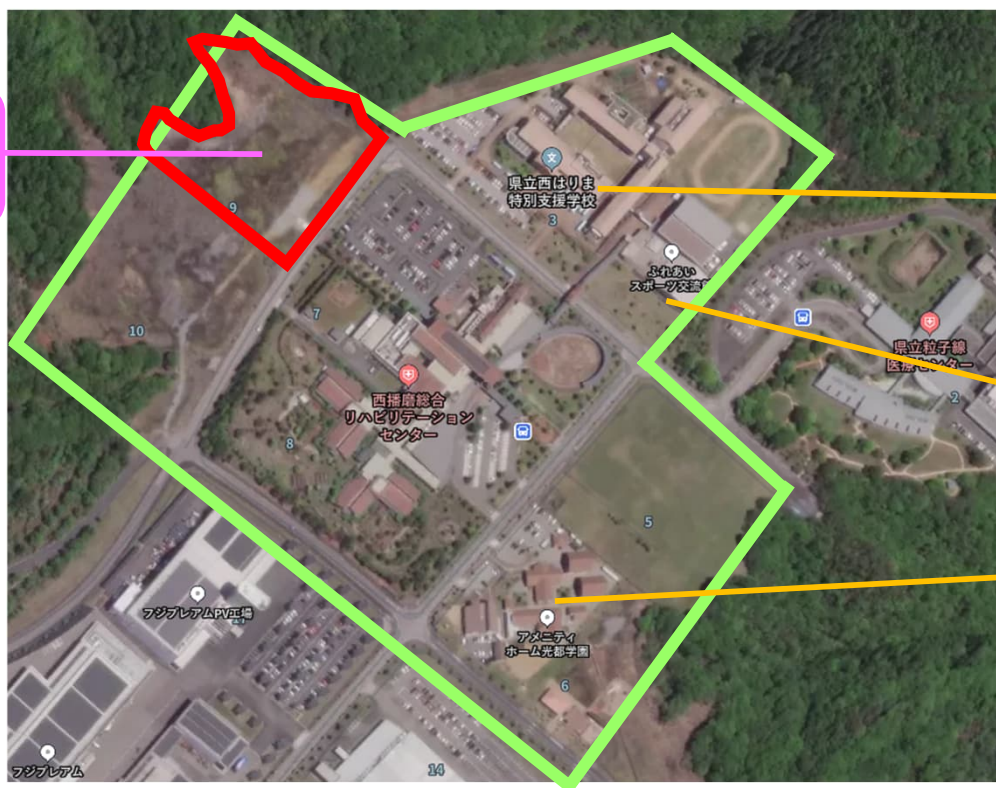
光都強度行動障害対応モデル地区

(新設) 強度行動
障害対応施設

今回整備地の概要
所在地：たつの市新宮町
光都1-490-44
地 目：宅地
実測面積：12,000.04㎡

西はりま
特別支援学校ふれあいスポーツ
交流館

児童・障害
福祉施設



播磨科学公園都市全体地図

- モデル地区を中核とした周辺施設との連携強化(農福、学福、産福連携)による**播磨科学公園都市の活性化**

光都強度行動障害対応モデル地区

① 福・福連携

(新設)
強度行動障害対応施設

ふれあいスポーツ交流館

たつの市役所
※南に約15km

龍野健康福祉事務所
※南に約15km

交流人口の増加

西はりま特別支援学校

児童・障害福祉施設

② 農・福連携

西播磨県民局
光都農林事務所

③ 学・福連携

兵庫県立大学
兵庫県立大学附属高校
兵庫県立大学附属中学校

④ 産・福連携

産業団地各企業



「光都強度行動障害対応モデル地区」の創設

本県の強度行動障害を有する者に対する支援

国の方針	「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会」報告（R5.3） 強度行動障害を有する者の更なる支援の充実に向けて、人材育成、地域連携 及び日常的な支援体制の整備が必要	
県の方針	集中支援	著しい行動障害の低減のため、(社福)あかりの家で集中的な支援を実施済
	人材育成	強度行動障害支援者養成研修（H26～）及び強度行動障害スーパーバイザー研修（R4～）を実施し、人材育成体制は整備済
	地域連携	地域の行政、医療、福祉、教育等様々な機関との連携や交流により、強度行動障害者が地域と関わりながら生活できる環境を今後整備していく予定

参考：強度行動障害とは

自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態
県内の強度行動障害を有する方 約3,000人

【県全域】
(社福)あかりの家(高砂市)
強度行動障害者を集中的に支援
【西播磨圏域】
(社福)愛心福祉会(上郡町)
スーパーバイザーとして施設を支援

連携

光都周辺には既に様々な支援機関が備わっている

光都強度行動障害対応モデル地区

行政(西播磨1市2町・龍野健福)
強度行動障害を有する者の支援ニーズを把握
関係機関の調整、協議会等による支援体制構築

教育機関(西はりま特別支援学校)
個々の特性を踏まえた教育

障害児支援
(児童発達支援センターたんぽぽ[あいむ])
予防的支援、成人施設への移行支援

連携

強度行動
障害を
有する
者・家族

(新)強度行動障害対応施設【今回誘致】

強度行動障害を有する者に対応した居住系、
通所系、訪問系のサービスを提供
強度行動障害支援者養成研修修了者を配置

スポーツ交流施設[社会福祉事業団]
体育館・運動場等の利用等

相談支援事業所／基幹相談支援
(相談支援事業所にじ[あいむ])
関係機関との連絡調整、集中支援機関へのつなぎ

光都(西播磨)をモデル地区として、全圏域に強度行動障害の支援体制を構築していく